



うさぎ小屋通信

残暑号

編集発行：由卯

<http://www1.to/yosinasi>

変化

編集人 由卯

七月も過ぎ、毎日三十度を越す暑さが続いている。台風も頻繁に起こり、新潟・福島県を襲った先日の豪雨は凄まじいものだった。一時は四十三万人もの人々が避難し、いまだに孤立している集落もある。東日本大震災の被害もまだ収まっていない矢先の大惨事だ。

今年はいんフルエンザ発症に始まり、発熱や耳鳴りなど、体調がいまひとつの半年だった。まだ何か起こりそうな、そんな恐怖に苛まれながら、眠りが浅い日もあったりとして、「老い」



という言葉深く考えるようになった。

初めての耳鳴りに、精神的にも不安定になり、「嗚呼、ここから色々な病気へと発展していくのだな」と眠れない夜が続いた。虚ろな頭の中で、四十九歳で亡くなった父の事を思い出していた。

今まで、健康だけが取り得だった私にとって、今年の体調の変化は大きなものだった。そして、今の自分を省みる良い機会になったのも言うまでもない。残りの人生、自分がこの先何がしたいのか、未だに定まっていけない事に一抹の不安さえ覚えた。

考えてみると、子供の頃から「大きくなったら〇〇になりたい」という願望が薄く、ただ漠然と過ごしてきた。好きなものはあったにしろ、それを生活のすべてにすることになかった。

た。ここ二年ぐらいは、「お菓子作り」に精を出してはいるが、これまでの趣味と同様、いつかは飽きる時が来るのだろう。一つだけ言えば、大学卒業後内定していた出版関係の仕事を諦め違う道へと進んだが、偶然にも二十年経った今、印刷関係の仕事に就いたことがせめてもの救いかもしれない。

最近、母が新聞の広告欄で、八丈島の「明日葉」の記事が載っていたのを見つけ、いつも間にか、庭に明日葉の苗が植えつけられていた。以前より明日葉について関心があった母は、嬉々として毎日明日葉を食している。私も、貧血が治り、献血ができることを夢見ながら、明日葉の青汁をせっせと食している。効果が表れるのはまだまだ先だが、一つしかない命を大切にしながら、これからの人生を楽しく暮らしていきたいと思います。



蓮の実

知

人に「蓮の実」を使ったらお菓子を作ってくれと頼まれ、先日何とか渡すことができました。

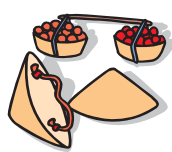
初めて蓮の実（正確にいえば蓮の種子だが）を手に取り、とりあえずは乾燥しているのので、三十分ほど煮て食べてみたが、食感が栗のようであった。しかしこの実、茹でたてはホクホクとして美味なのだか、お菓子の材料としては、いささか問題があった。というのも、時間が経つと実自体が固くなり、水分が飛んでしまうのが難点だった。初め、ナッツの代用としてケーキに入れてみたが、味がついて



いないと美味しくなかった。タルト生地の上にのせ、キャラメルと焦がしてみたが、煎った大豆のように固くなって、食べられたものではない。簡単にできそうな感じだったがそうはいかず、悪戦苦闘の日々が過ぎていった。



ベトナムでは蓮の実が普段の料理に使うようだが、一度乾燥したものは豆のように一日水に浸さないといけなかったかもしれない。渡してしまつてから、あれこれと考えていたが、知人の行った現地（ベトナムのどこかの町）では余り甘いものがなく、大変喜ばれたというところだが、果たして味は大丈夫だったのだろうか。いささか疑問も残る。



My favorite お気に入り 見つけた!

File 21.

◆ Brocant&Mercerie Annie

【アンティーク雑貨・手芸材料】



以前、チャレンジショップで一花さんと隣同士

だったAnnieさんは、今年の5月末に2th Anniversaryを迎えた。フランスに直接買い付けしてきたアンティーク雑貨や手芸用品がところ狭しと陳列され、オーナーのセンスの良さが店内のいたるところに溢れている。

先日、三日間あったSweeは、雨が凄かったにもかかわらず、お客さんの量も半端でなかつ



▲写真はオープン当時のもの

た。Annieさんの人気が伺える。私も知り合ってまだ月日が経っていないが、彼女の人柄にひきつけられる人も少なくない。

▲奥にはキッズルームもあり、ママ達も安心して買い物ができる



もうかれこれ何十年前も前、子どもが幼い頃にちくちく手芸をしたこともあったが、最近ほ細かい作業が苦手になり、もっぱら雑貨専門(買い物)になった。手芸の好きな方には、宝の山なのかもしれない店内で色々な雑貨を見てはため息をつき、一花Cafeで挽きたてのコーヒーに舌鼓を打つ(笑)。

◆ Brocant&Mercerie Annie

都城市早鈴町1865-1

☎099330847

open 11~18時

休日・月イベント開催時は変更あり

<http://bmannie.exblog.jp/>

File 22.

◆ module

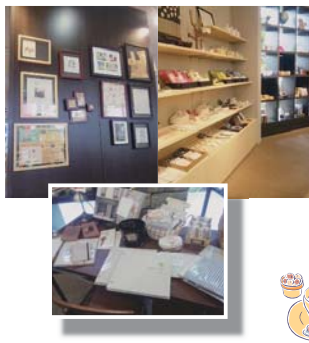
【ステーションナリー】



都城では珍しく stylishなステーションナリーが並び、大人のお店と言っても良い

かもしれない店内には、和の小物や革製品など厳選された文房具が並んでいる。

フロア内には、ドトールコーヒーとレストランもあり、つい長居をしてしまいそうなそんな遊べる空間である。ゆっくりと寛ぎの屋下がりを通しては如何だろう。



▲落ち着いた店内で、ゆっくり買い物ができる

◆ module (Ms.ガーデン内)

都城市乙房町2887-1

☎098633389

open 10~19時

梅雨を楽しむ



入口の看板から細い通路を通ると「銀の

波」ギャラリーに辿り着く。古民家を改装して作ったギャラリーは、作家坂本智子の城だ。

いつもイベントでしか触れたことのない作品を場所を変えて見ると、また違った顔を見せる。光と影の織りなす技なのだろう。

作品も多岐に飛んで、色々なものがあるのが面白い。猫の表情や様々な動物たちの表情が生



▲庭の木々を眺めながらお茶を飲むのもいいかも...

おしまい

生ききとして、愛らしい...。お茶を入れて頂き、雨を眺めながら他愛もない話を延々とした。ジメジメ湿気の嫌な季節も気分を変えてみると、楽しい時間になる。(photo:銀の波galleryにて)

今年は、台風が発生が多いせいか、全国的に不安定な天気が続いている。まだまだ色々な出来事が起きるだろう未来を懸念するよりも、今楽しい事を一つでも作っていきたいと思う今日この頃である。

占いでは今年から大殺界に入ららしい。占いなんてと馬鹿にする人もいるだろうが、「気をつけなさい」というサインだと私は思っている。私達の生活はいつも安定しているものではない。いつ何時、どんな事が起こるか分からない。人間は二足歩行をすることによって、動物的本能がなくなってきた。バイオリズムを考えながら行動することとは、危険から身を守る一つの手段だと考えるがどうだろうか?

由卯